

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		地域支援センターまなびや					公表日	令和8年2月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境 制・ 運 備 營	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○					
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法人職員である臨床心理士等も参加しながら情報の共有を行っている			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		研修やケース会議等を行い、支援計画等の振り返りを行っている			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者から評価に関しては職員会議で結果を伝え業務改善につなげている			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議や個別面談等で職員からの意見や要望などを聞く機会を設け改善につなげている			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者評価会議を開催しているので評価結果等を公表しながら改善があれば改善していく			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		スキルアップ研修や個別研修等は確保されている			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		保護者からのアセスメントや担任やその他関わっている関係職員からたくさんの情報を集めて計画を作成している			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		沢山の意見や情報をもとに検討されている			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		常に訪問先とは連絡をとりながら事業所の様子なども見ていただいたり見学もしている			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書に沿った支援を行っている			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		児童の状況等はシステム内で確認を行っている			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的内容や支援内容は設定しており、ガイドラインに沿った計画になっている			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケース会などで職員全員が共有しているようになっている			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		事前に職員会議等で共有しながら連携して支援を行っている			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後は記録等で振り返り、共有会議を行っている			
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の担任や学校などの理念や方針は事前に調べたり聞いたりしながら支援を行っている				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援内容は記録をとり、職員が全員閲覧できるようにしており、検証、改善を都度行っている				

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に保護者や学校との連絡をとりながら見直しが必要な場合は適宜行っている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議等には児発管、保育士、臨床心理士等が参加している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関や児童が医療機関等に関わっている医師やリハビリ担当と連携して情報共有を行っている	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ケース会議を行い、情報共有を行っている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		職員は定期的に研修を受けたり、専門職員から助言をいただきながら質の向上を図っている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		市の子育て会議や個別検討会議等に定期的に参加している	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		家庭での状況や学校や保育園での状況を情報共有しながら共通理解を行っている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族向けの研修等、事業所内親子参観を設けながら情報提供を行っている	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		担当者会議等で説明を行っている	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		事前に打ち合わせを行いながら説明を実施している	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者とのやりとりを行いながら家族の意向を確認している	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		担当者会議やケース会議等で支援計画の内容の同意を得ている	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に家族と面談をしたり、交流を行いながら助言や指導を行っている	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		フリー参観日を設けたり、保護者会、懇親会等を開催しながら交流ができる機会を設けている	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談窓口を設けており、第三者評価や苦情処理委員会等を活用しながら迅速かつ適切に対応している	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の行事予定やSNS等を利用して情報を発信している	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		情報の取扱いについては保護者にも説明しながら行っている	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		情報伝達に関しては記録や紙媒体を利用しながら配慮を行っている		
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先からの相談には適宜体制を整えて支援を行っている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		支援実施後は必ず連絡をとりながら情報共有を行っている	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		家族には記録等状況を説明したり、支援内容を共有している	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		上記同じ	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		学校や子ども園からの相談には適切に応じながら助言を行っている	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル通り訓練を実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員は訓練、研修を行っており、安全管理はしっかりと行っている	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成しており、職員と共有して再発防止に努めている	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修は法人内でも実施されている為参加している	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束に関しても研修を実施しており、共有を図っている	